

## 11 筋工

### 11-1 丸太積筋工（ウッドカフス）

#### 特徴

中詰材（間伐材）を利用したカフス部（壁面）と丸棒を組み合わせたものである。

#### 施工場所

施工場所は、以下の設置条件とする。

ア 耐久性に問題が無く、強度をほとんど必要としない箇所

イ 早期に緑化が可能な、土壌条件が比較的良好な箇所

ウ 道路の山側切土面等で土圧の比較的小さい箇所

#### 施工方法

高さは背面土圧等を考慮し3段程度とする。

本工法の耐久性を考慮し、植栽等により早期緑化を図る。

#### 全景



作業道の簡易的な山留として使用し、上部には植栽を実施した。

## 近景



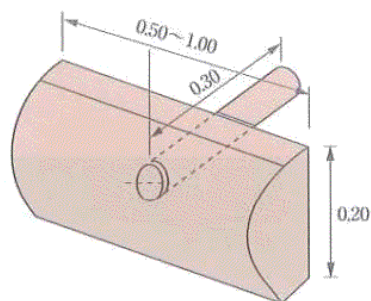
施工地：徳島県三好郡三加茂町  
事業名：生活環境保全林整備事業  
施工主体：徳島県

施工後、雑草が茂り道路斜面の安定が見受けられる。

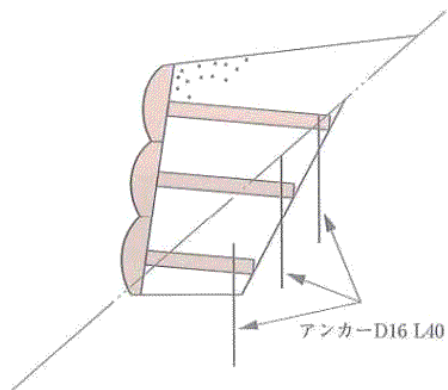
## 標準図

(単位：m)

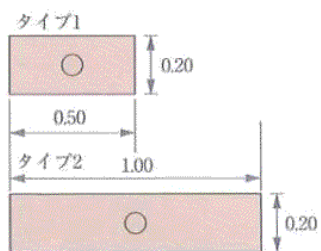
立体図



側面図



正面図



材料・歩掛表

H=0.6m

(10.0 m当たり)

名 称	規 格	数量	単位	摘 要
丸太ブロック	L=0.5m 防腐加工無 H=0.2m	60.00	個	
鉄 筋 加 工	D=16mm	37.44	kg	
普通作業員	杭打、積上げ、仕上げ	1.08	人	

名 称	数 量	数 量	数 量	数 量
ウッドカフス	60 個	40 個	30 個	20 個
ア ン カ ー	20 本× 3 段=60 本	20 本× 2 段=40 本	10 本× 3 段=30 本	10 本× 2 段=20 本
摘 要	タイプ 1(3 段積 み)	タイプ 2(2 段積 み)	タイプ 2(3 段積 み)	タイプ 2(2 段積 み)

## 11-2 ワンタッチウッディ筋工

### 特徴

盛土法面の雨裂を防ぐために施工し、折り畳んで現地に搬入できる。

### 施工場所

比較的盛土法長が長い箇所に設置する。

### 施工方法

植生等により地形が安定するまでの短期間な効果を期待する工法であるので、原則として腐食処理は実施しない。

### 全景



盛土法面用 平成12年度施工／L=2,018m スギ間伐材 45 m<sup>3</sup>使用

### 近景



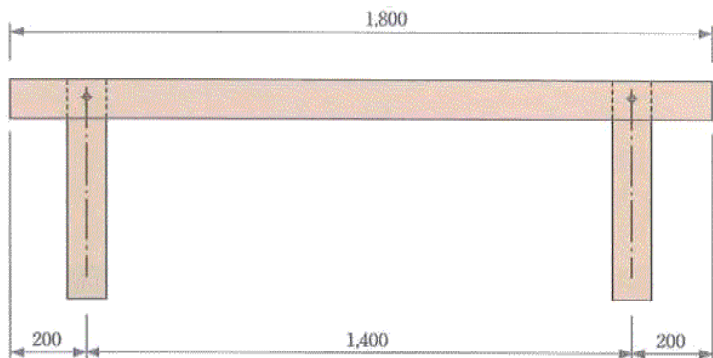
施工地：山形県最上郡鮭川村  
事業名：ふるさと林道緊急整備事業  
施工主体：山形県

単体 径6～11cm L=1.8m ボルト3／8インチ

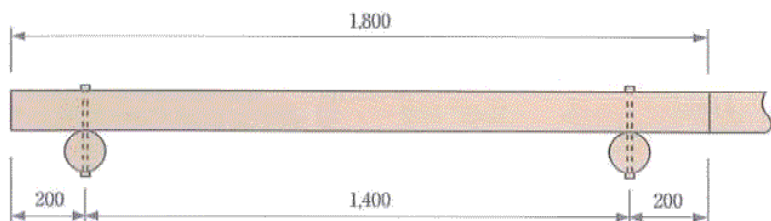
# 標準図

(単位：mm)

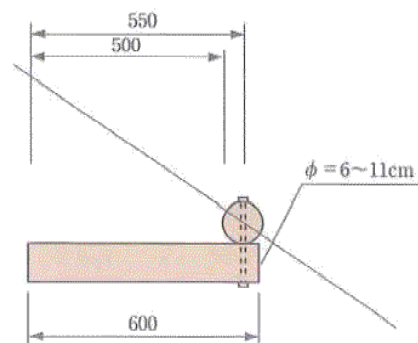
平面図



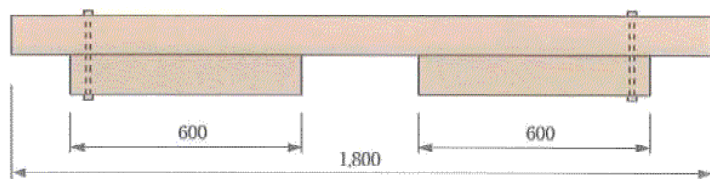
正面図



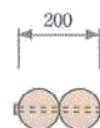
側面図



正面図  
(運搬時)



側面図  
(運搬時)



## 材料・歩掛表

L=1.8m、0.6 × 2、φ = 6 ~ 11cm

(10 基当たり)

名称	数量	単位	備考
普通作業員	0.10	人	

- 備考 1 緑化については、別途積算。  
2 燻煙処理、防腐処理については別途積算。

### 11-3 板筋工

#### 特徴

積苗工のイメージを再現し、板材を使用し施工性が高い。  
軽量で、施工が容易である。  
杭打ちを必要とせず、堅固な地盤の箇所でも施工が可能である。

#### 施工場所

山腹斜面及び法面。

#### 施工方法

スギ板を三角形に組み立てて、背面に土砂の埋め戻しを行う。  
必要に応じて緑化工、植栽工と組み合わせる。

#### 全景



完成時



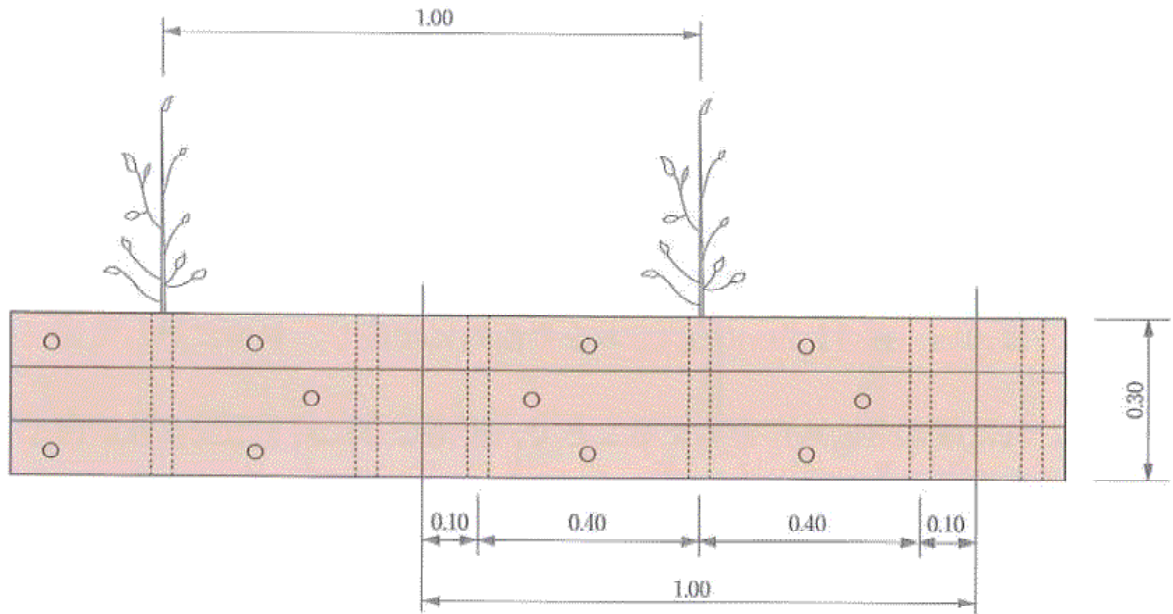
施工後

施工地：兵庫県氷上郡柏原町  
事業名：災害関連緊急治山事業  
施工主体：兵庫県

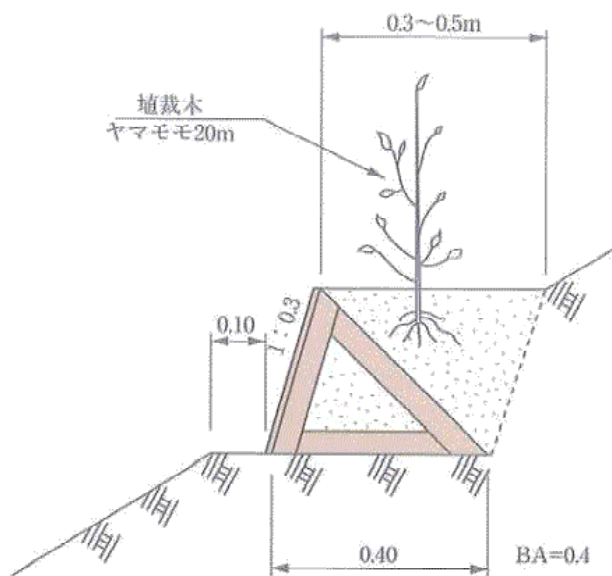
# 標準図

(単位：m)

## 正面図



## 断面図



材料・歩掛表

(10 m当たり)

名 称	規格・寸法	単位	数量	摘 要
板 筋 工	スギ板 L=1,000m、H=300mm 控え 390mm	基	10.00	筋工前面に 7 箇所／基の 開孔
人 力 切 取	切取断面 0.08 × m <sup>2</sup> × 10m	m <sup>3</sup>	0.80	礫質土
人 力 埋 戻	盛土断面 0.12 m <sup>2</sup> × 10m	m <sup>3</sup>	1.20	礫質土、斜面整地による 土砂を流用
植 栽	1.0m 間隔で植栽	本	10.00	ヤマモモ、スギ、ヒノキ 等